

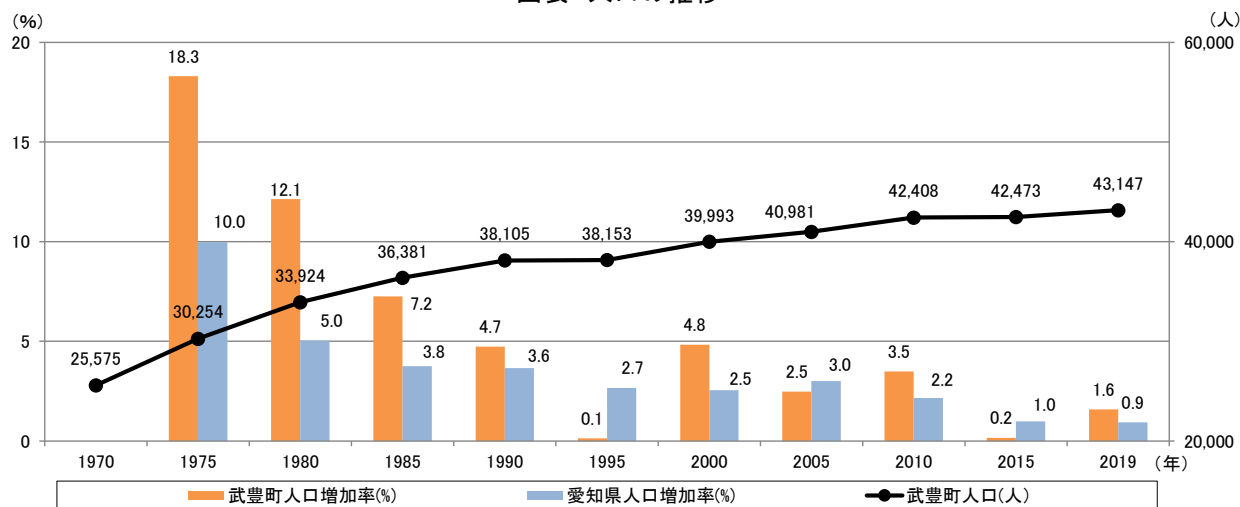
第2章 現況特性

本章では、都市づくりに関わる現状から、本町の現況特性を整理します。

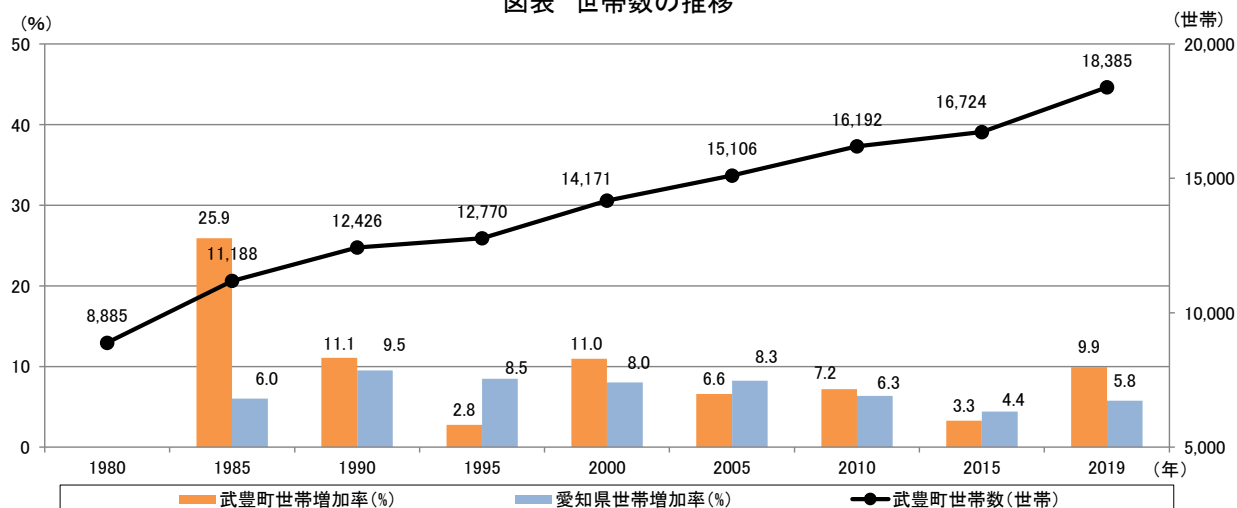
(1) 人口・世帯数

- 人口は1990年（平成2年）以降の増加が鈍化し、近年は横ばい傾向にあります。
- 世帯数は1980年（昭和55年）以降、増加を続けています。

図表 人口の推移



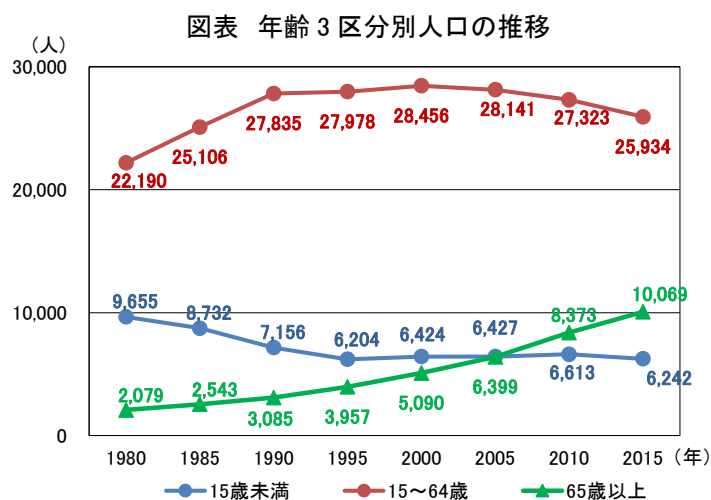
図表 世帯数の推移



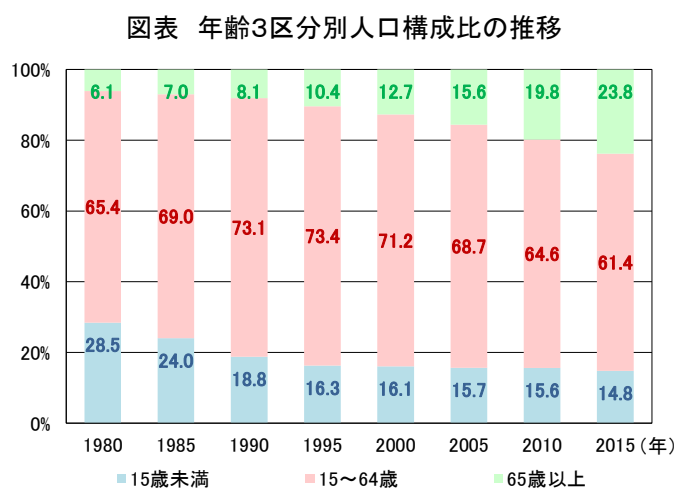
※1970年（昭和45年）～2015年（平成27年）は国勢調査、2019年（令和元年）は愛知県人口動向調査結果による推計人口及び推計世帯数（直近の国勢調査結果を基に、その後の住民基本台帳の異動数（出生、死亡、転入、転出等）を加減して推計したもの）

（資料：国勢調査、愛知県人口動向調査）

○2015年（平成27年）までの年齢3区分別人口の推移をみると少子高齢化が進んでおり、特に高齢者人口の増加が顕著です。

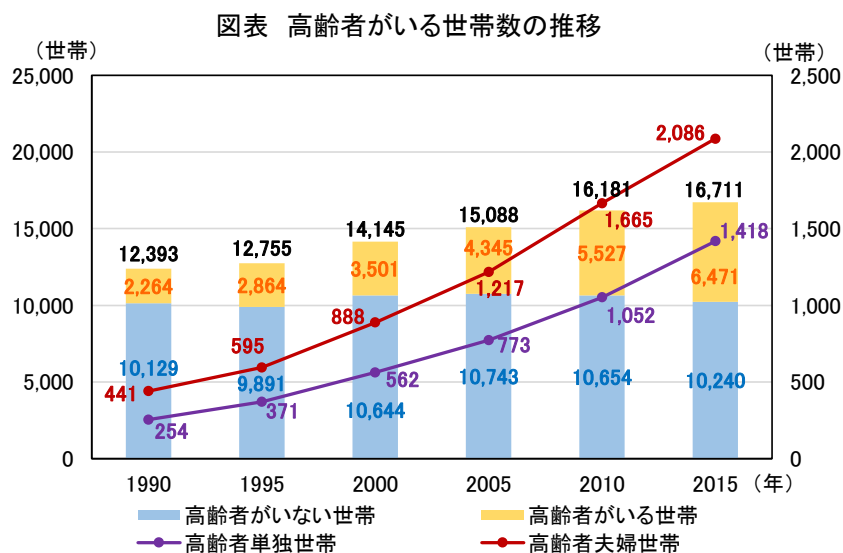


（資料：国勢調査）



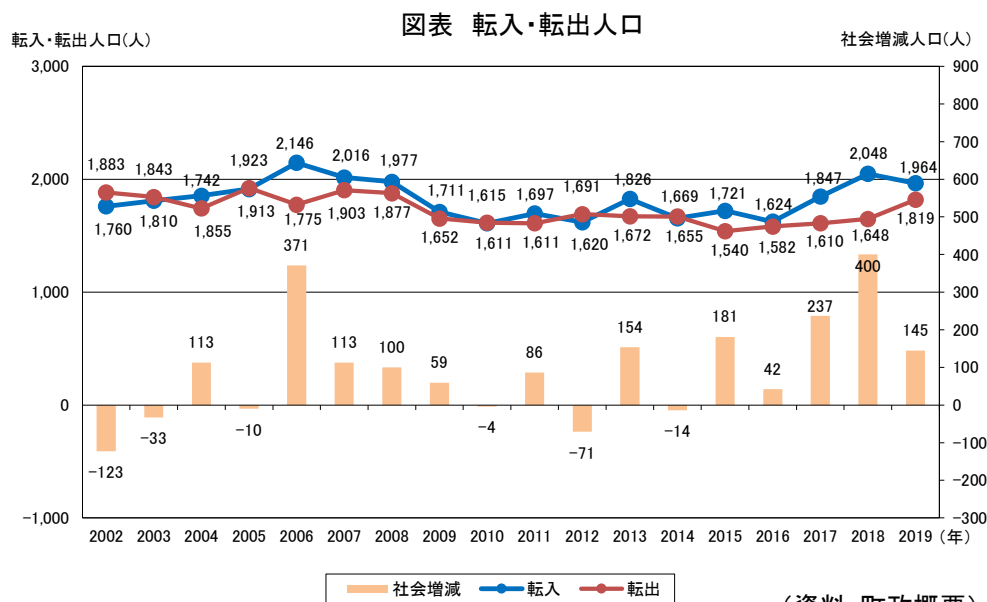
（資料：国勢調査）

○高齢者のいる世帯が年々増加しており、高齢者単独世帯及び高齢者夫婦世帯は、直近10年間で倍増しています。



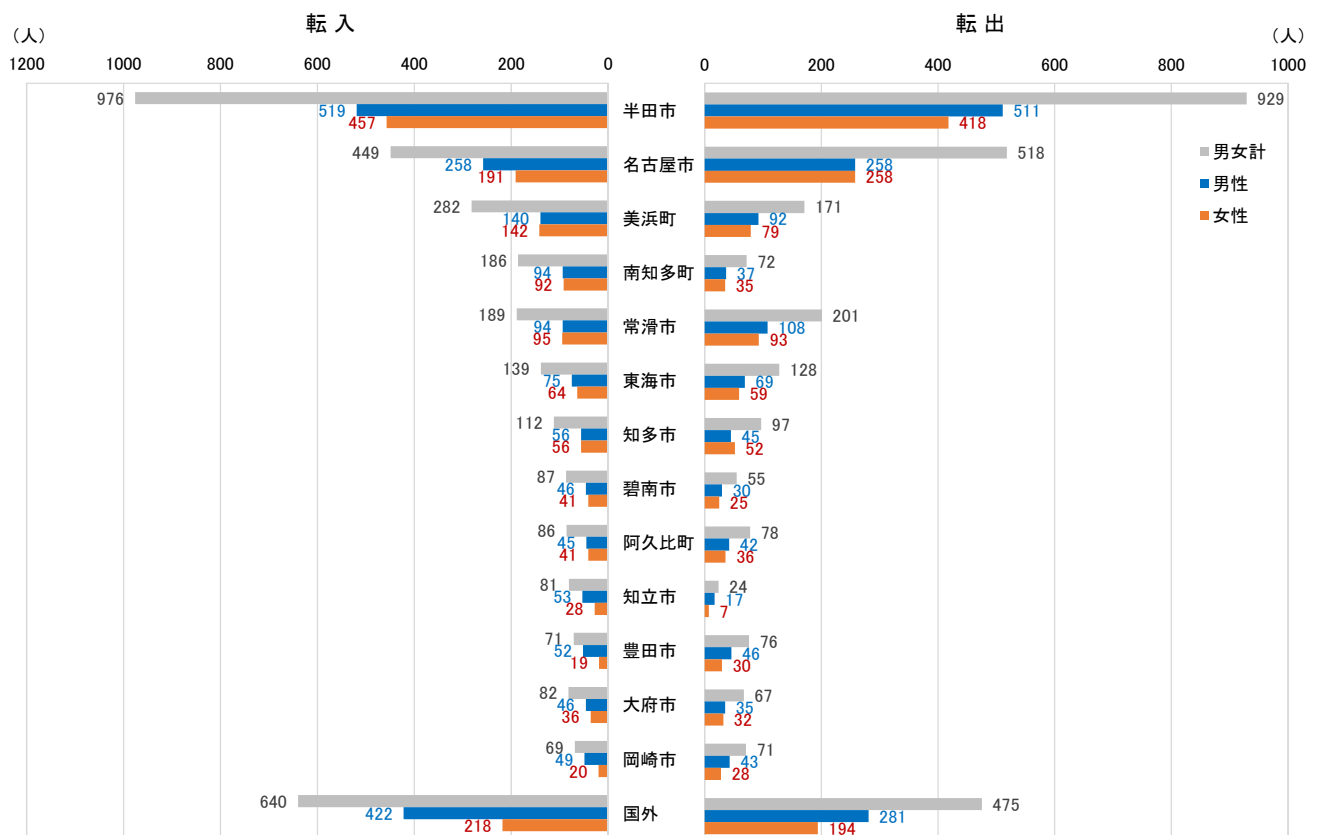
（資料：国勢調査）

○近年は本町への転入人口が転出人口を上回る転入超過（社会増）の傾向にあります。



○近年の本町への転入者の主な転入元は半田市、国外、名古屋市、美浜町、南知多町等が挙げられます。

図表 転入元・転出先による男女別人口動向(2017 年(平成 29 年)～2019 年(令和元年))



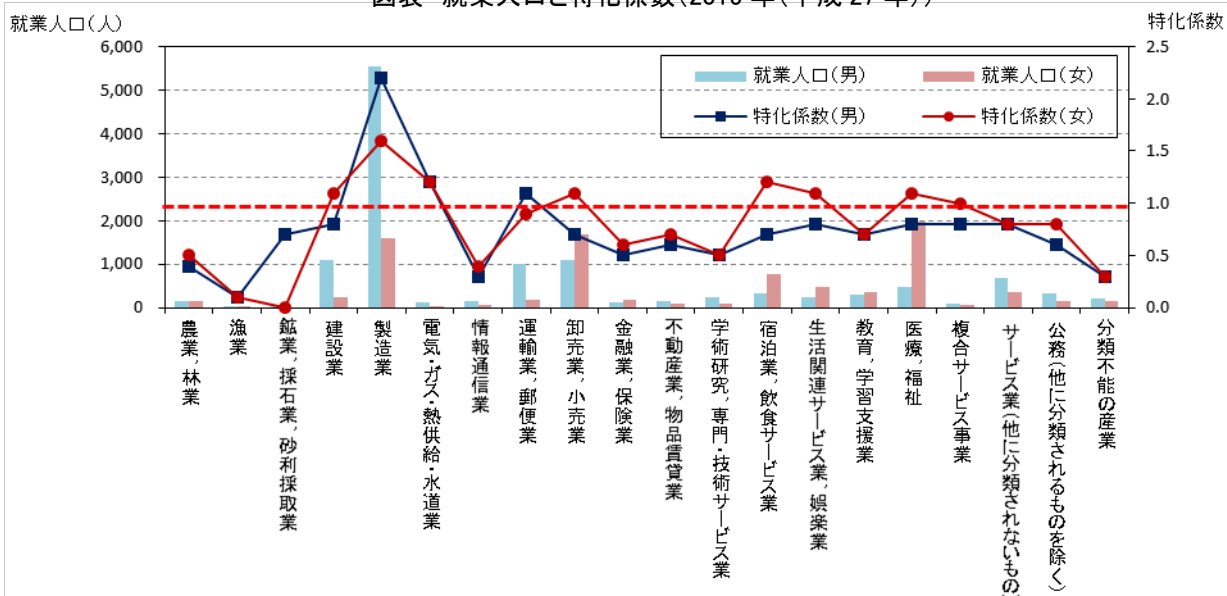
(注) 愛知県内市町村の中、転入元及び転出先として上位10位の市町村と国外を抽出。

(資料: 愛知県人口動向調査)

(2) 産業

- 本町の産業構造を全国と比較すると、男女とも製造業従事者の割合が非常に多く、本町は製造業に特化した産業構造を有しています。
- 男性の就業者は製造業が突出して多く、女性は宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉、卸売・小売業等も多くなっています。

図表 就業人口と特化係数(2015年(平成27年))



※ 特化係数: 本町における各産業大分類別構成比の全国比で、特化係数が1以上であれば、その産業の就業人口又は従業人口構成比が全国平均より高いことを示します。

X産業の特化係数=本町のX産業の就業(従業)人口比率/全国のX産業の就業(従業)人口比率

(資料: 国勢調査)

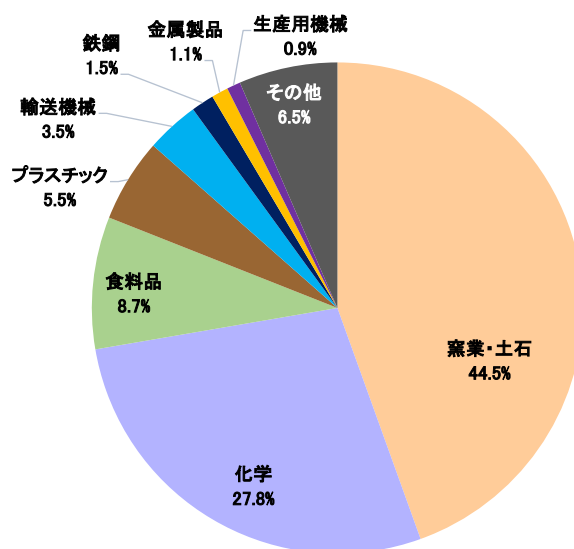
- 製造業は、「窯業・土石」「化学」「食料品」といった分野の事業所数、従業者数、製造品出荷額等が高い割合を占めています。

図表 産業中分類別事業所数、従業者数、製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)(2019年(令和元年))

	事業所数 (件)	従業者数 (人)	製造品出荷額等 (万円)
総数	81	7,050	28,044,267
食料品	11	765	2,425,860
飲料・飼料	-	-	-
繊維	1	24	X
木材・木製品	2	24	X
家具・装備品	-	-	-
パルプ・紙	-	-	-
印刷	1	10	X
化学	10	1,794	7,808,092
石油・石炭	-	-	-
プラスチック	10	522	1,533,096
ゴム製品	-	-	-
皮革製品	-	-	-
窯業・土石	13	2,932	12,490,466
鉄鋼	4	64	417,102
非鉄金属	1	25	X
金属製品	10	158	313,010
はん用機械	1	6	X
生産用機械	9	103	256,201
業務用機械	1	48	X
電子部品	-	-	-
電気機械	1	42	X
情報通信機械	-	-	-
輸送機械	5	328	978,558
その他	1	205	X

※「X」は秘匿

【産業中分類別製造品出荷額等の割合】



(資料: 工業統計調査)

○本町は、歴史ある鉄道や醸造業（豆みそ・たまり）の「みそ蔵の立ち並ぶ町並み」、文化資源としての地域の祭りなどの貴重な地域資源を有しています。

写真 転車台

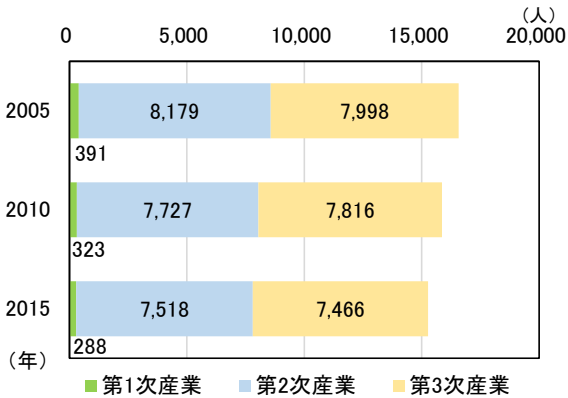


写真 みそ蔵の町並み



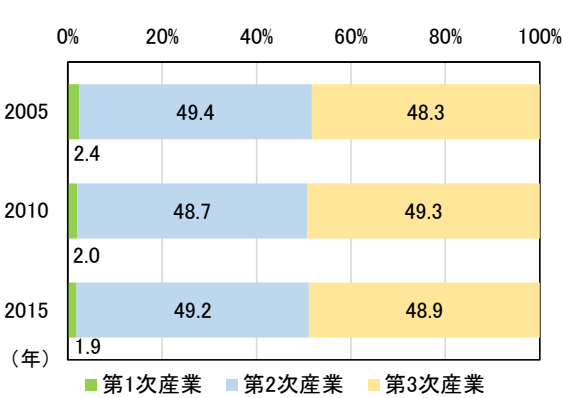
○本町で働く従業者数は、近年、第1次産業から第3次産業まで共通して減少傾向にあります。一方で人口は増加していることから、町外へ働きに出ていく傾向があると考えられます。
○産業分類別の従業者数の構成比は、第2次産業と第3次産業がともに約5割を占めています。

図表 産業分類別従業者数の推移



(資料:国勢調査)

図表 産業分類別従業者数の割合の推移

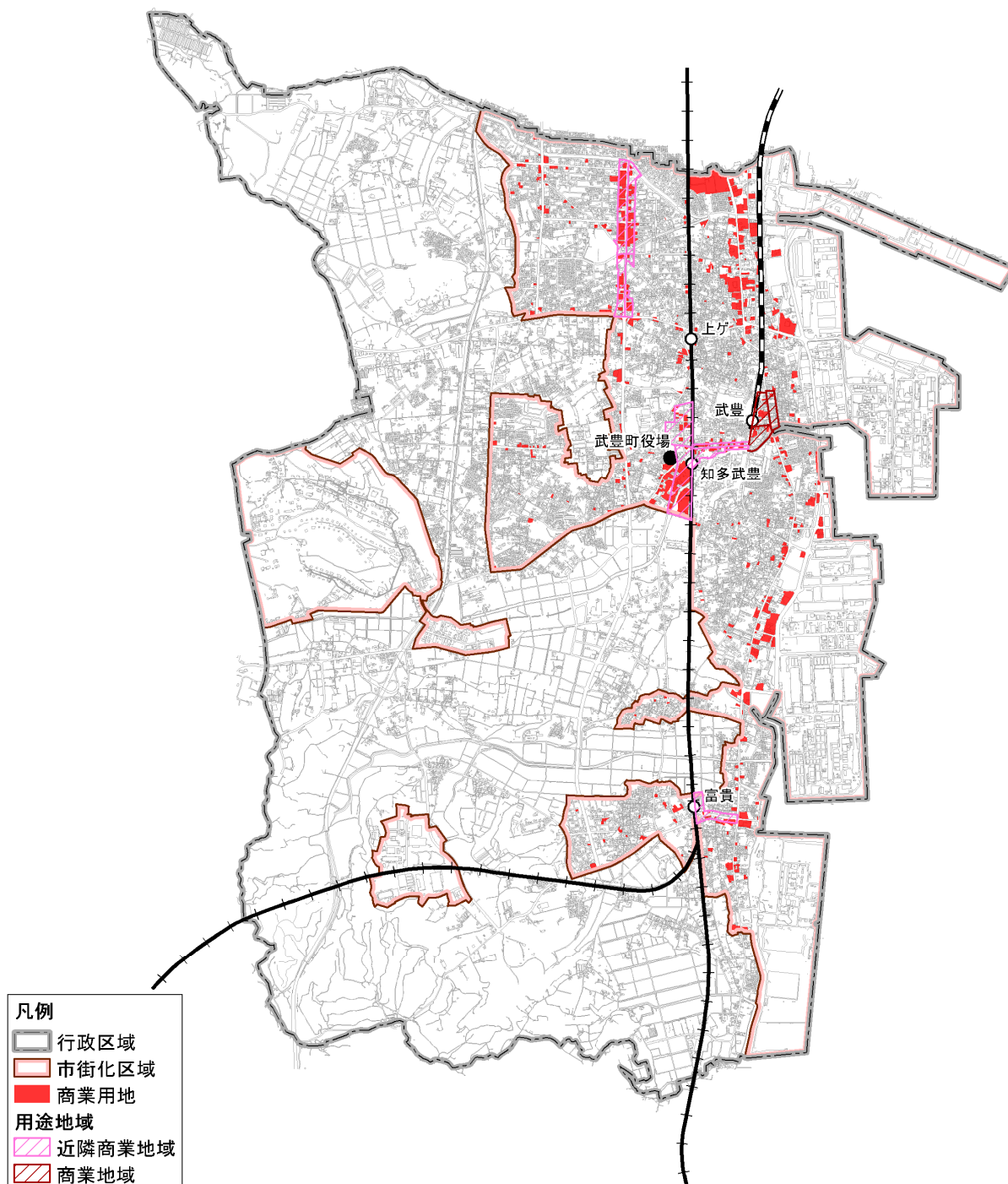


(資料:国勢調査)

(3) 土地利用

- 商業地域に指定されたJR武豊駅周辺や近隣商業地域に指定された名鉄富貴駅東側では住居系の土地利用が主体となっており、商業集積が進んでいません。
- 名鉄知多武豊駅西側と国道247号、県道半田環状線沿道に商業用地の集積がみられます。

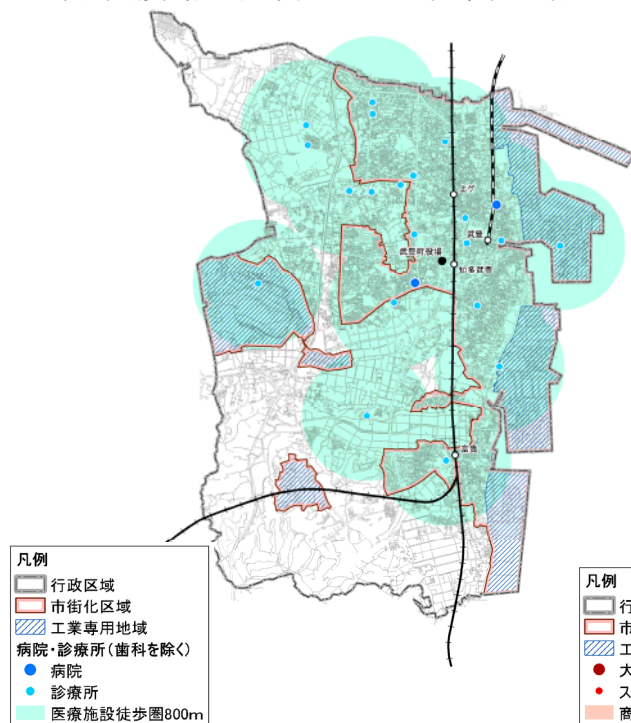
図表 商業系用途地域の指定状況と商業用地の分布(2018年(平成30年))



(資料: 愛知県都市計画基礎調査)

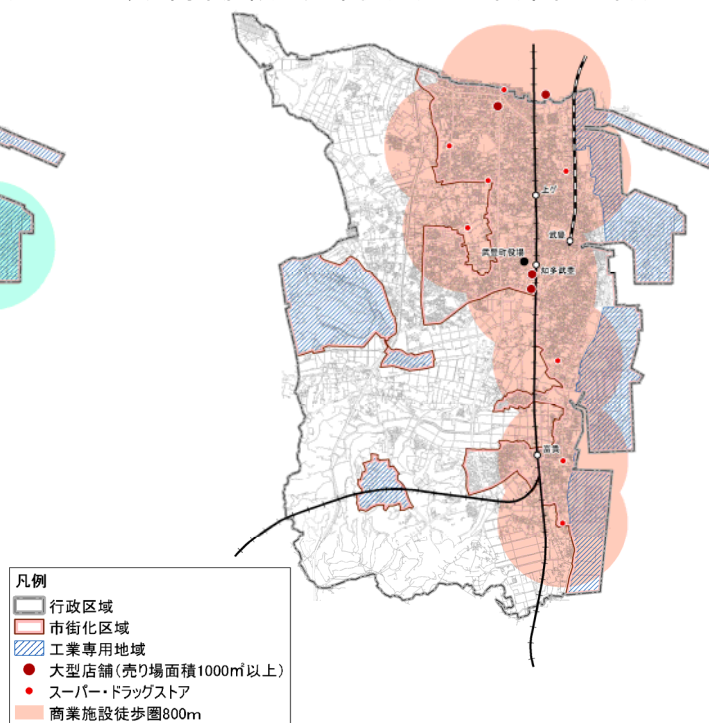
○医療、商業、福祉、子育てといった日常生活に密接に関連する都市機能は、市街地内に広く分布しています。

図表 医療施設の分布状況(2019 年(令和元年))



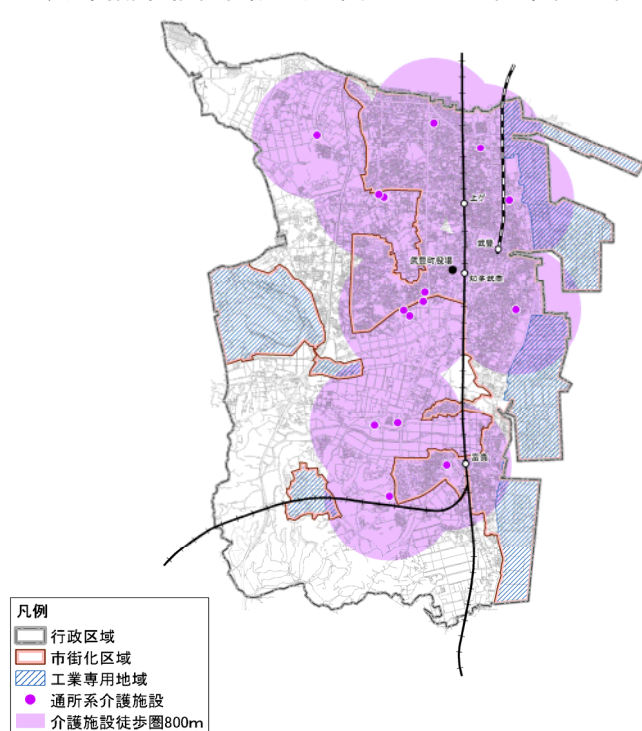
(資料:愛知県医療機関名簿)

図表 商業施設の分布状況(2019 年(令和元年))



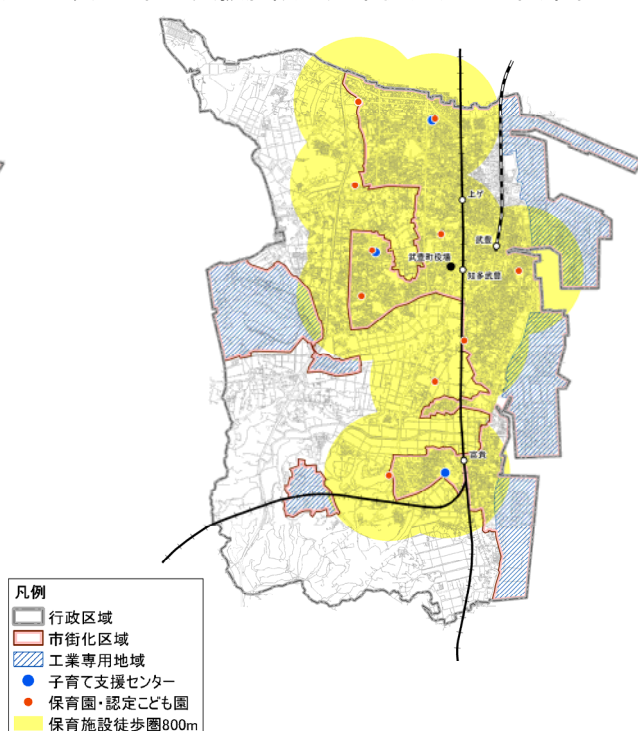
(資料:全国大型小売店総覧 2020)

図表 高齢者福祉施設の分布状況(2019 年(令和元年))



(資料:厚生労働省介護サービス情報公表システム)

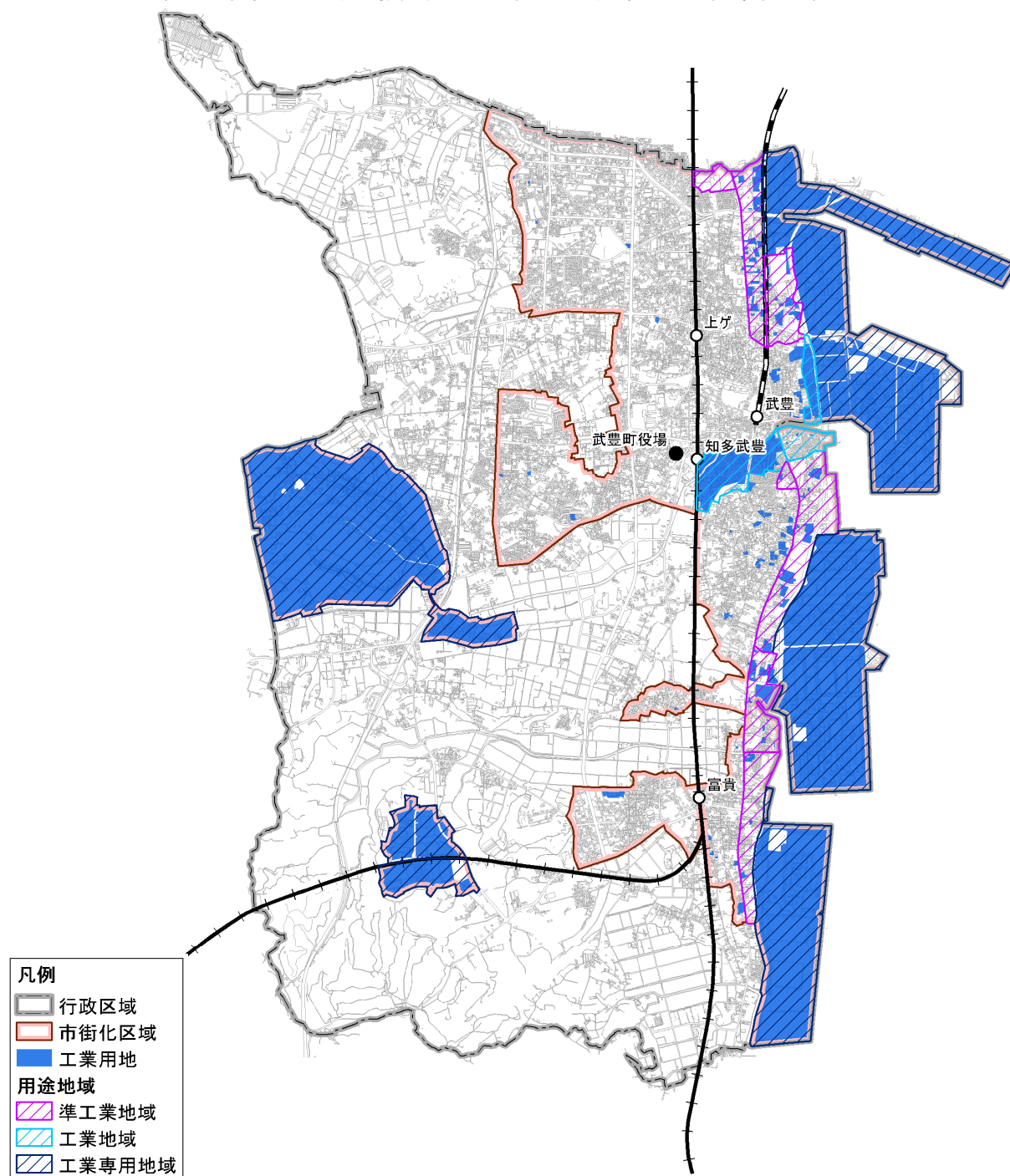
図表 子育て支援施設の分布状況(2019 年(令和元年))



(資料:国土数値情報、町資料)

○臨海部と内陸部の一部で市街化区域の約45%を占める工業用地が集積しています。

図表 工業系用途地域の指定状況と工業用地の分布(2019年(令和元年))

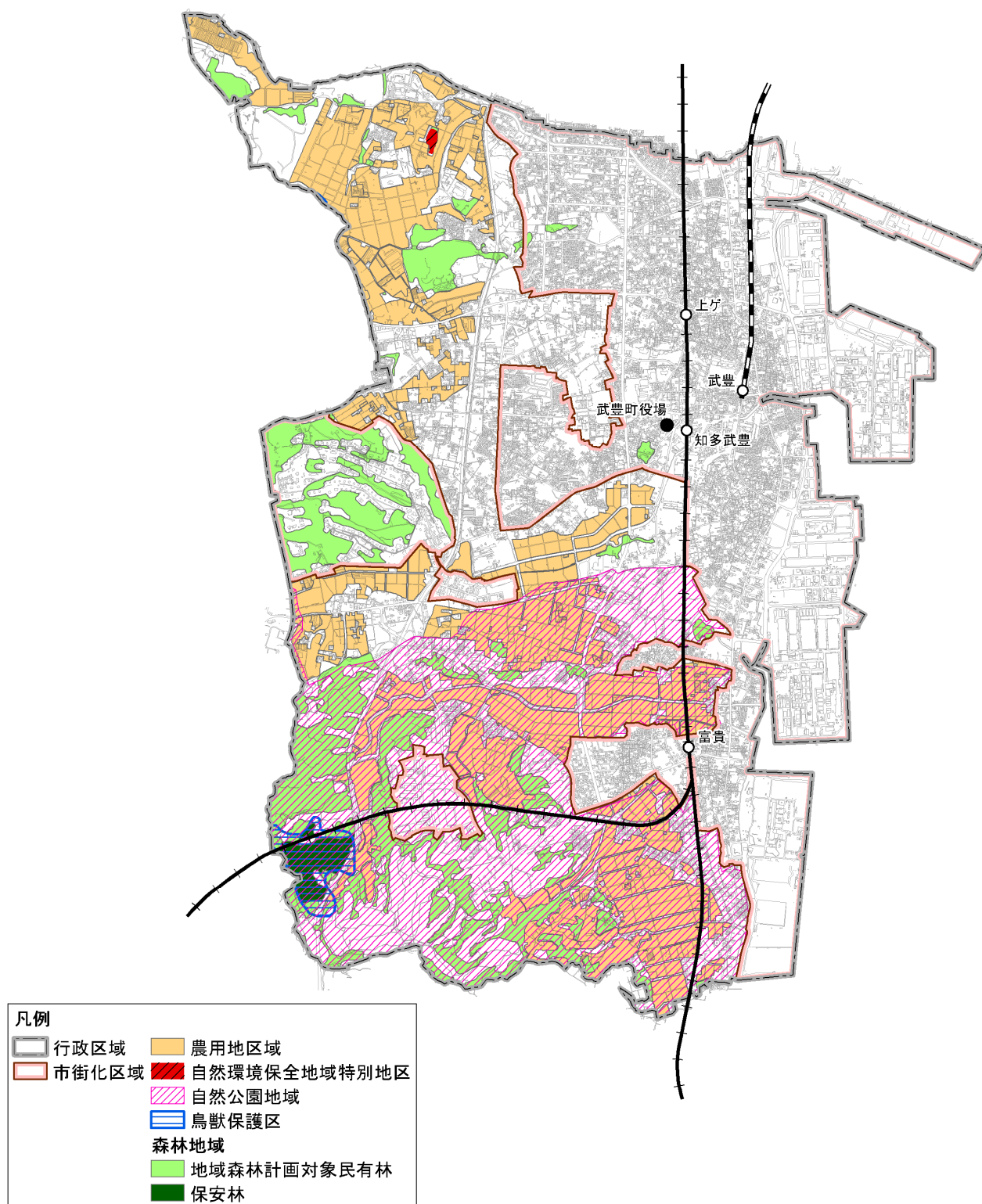


(資料:愛知県都市計画基礎調査)

第1章	計画の位置づけ
第2章	現況特性
第3章	住民意向の把握
第4章	課題の整理
第5章	全体構想
第6章	地域別構想
第7章	実現化方策
参考資料	

- 町北西部の農用地区域に指定された農地の保全、農業振興が図られています。
- 町南西部の丘陵地帯は自然公園や保安林が指定され、豊かな自然環境が保全されています。

図表 農用地区域等の法指定状況(2015年(平成27年))

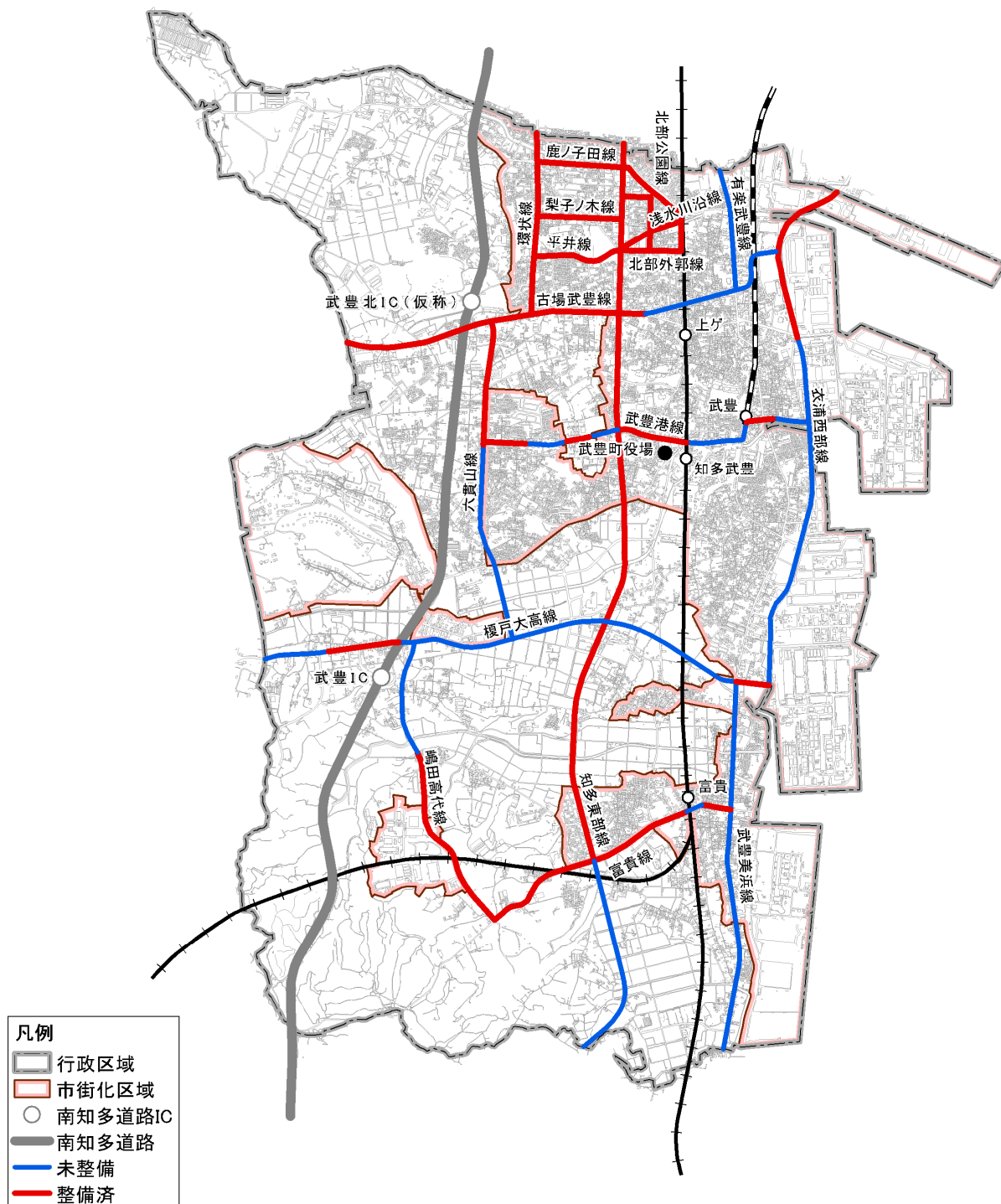


(資料:国土数値情報)

(4) 都市施設

○都市計画道路の幹線道路全体の整備率は51.6%にとどまっています。
(改良済 14,390m ÷ 総延長 27,920m = 51.6%)

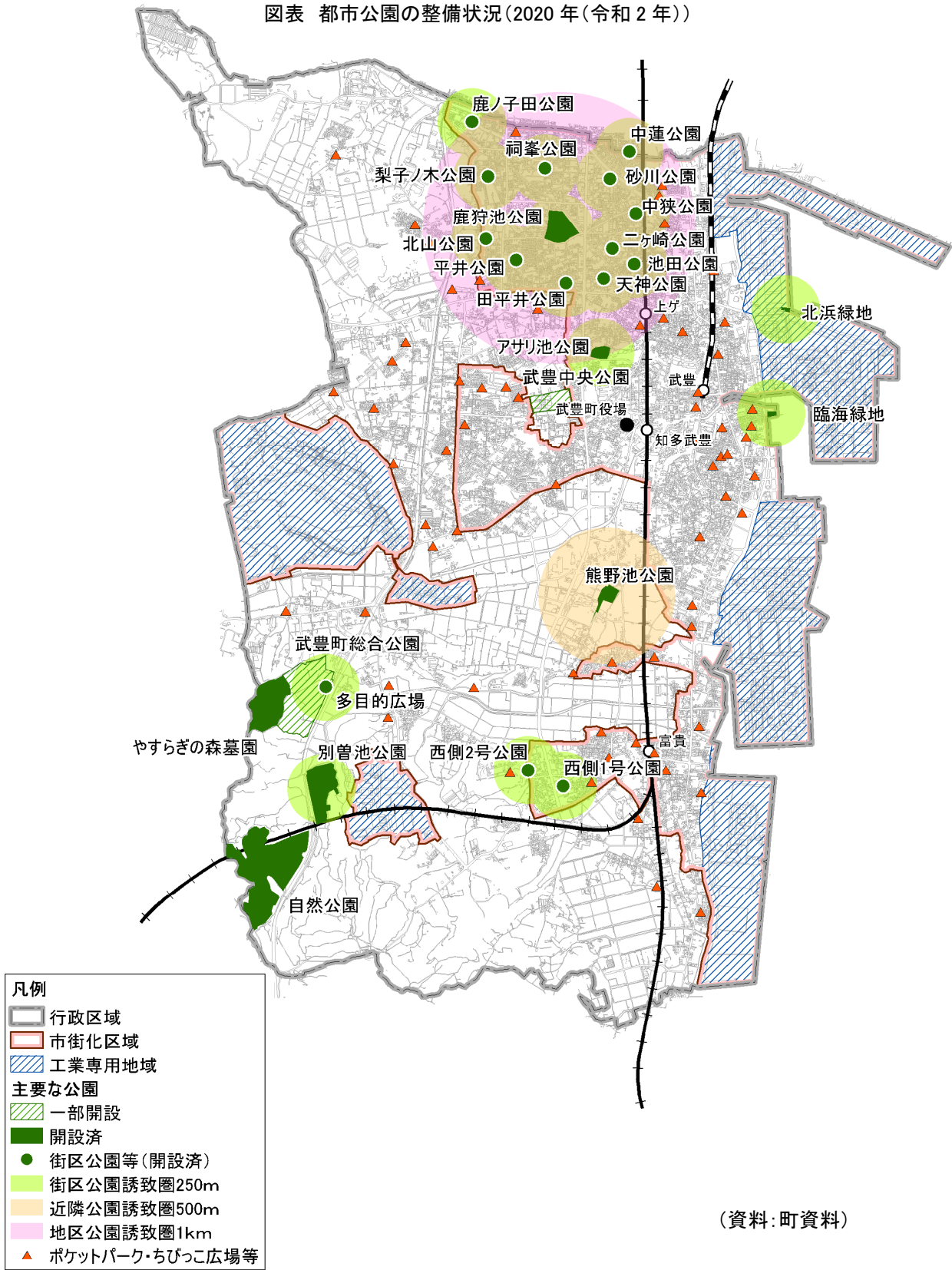
図表 都市計画道路整備状況(2020年(令和2年))



(資料:町資料)

○街区公園など身近な公園は広く整備されていますが、名鉄知多武豊駅東側の市街化区域において身近な公園がない（誘致圏外）エリアがみられます。
○ポケットパーク・ちびっこ広場が広く分布しています。

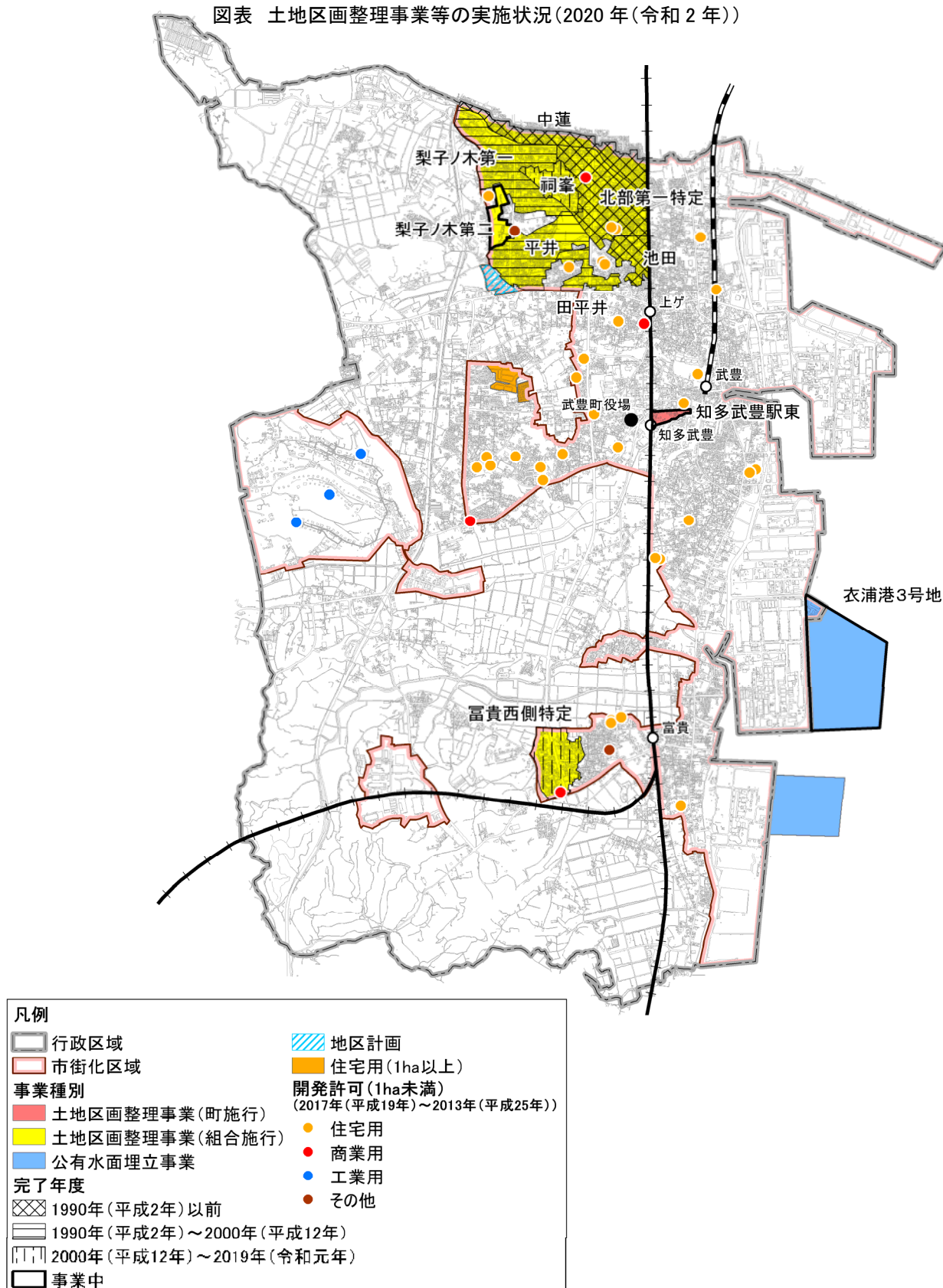
図表 都市公園の整備状況(2020年(令和2年))



(5) 市街地整備

○JR武豊駅及び名鉄知多武豊駅周辺や南部の市街地、市街化調整区域における集落地等では面的な市街地整備が実施されておらず、都市基盤整備が進んでいない状況です。

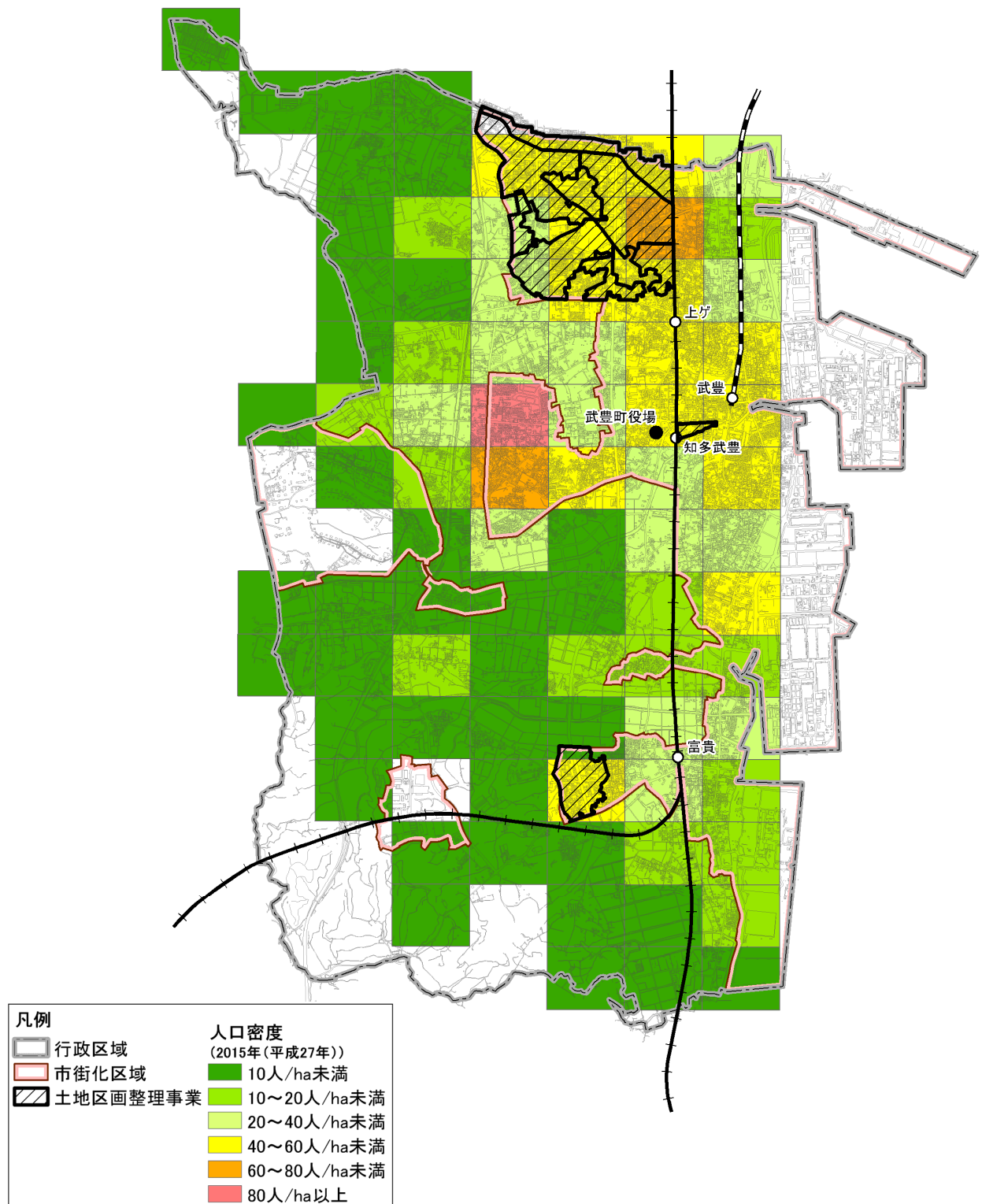
図表 土地区画整理事業等の実施状況(2020年(令和2年))



(資料: 愛知県都市計画基礎調査、町資料)

○JR武豊駅及び名鉄知多武豊駅周辺や土地区画整理事業等により整備された市街化区域内の北部等で人口密度が高い傾向にあります。

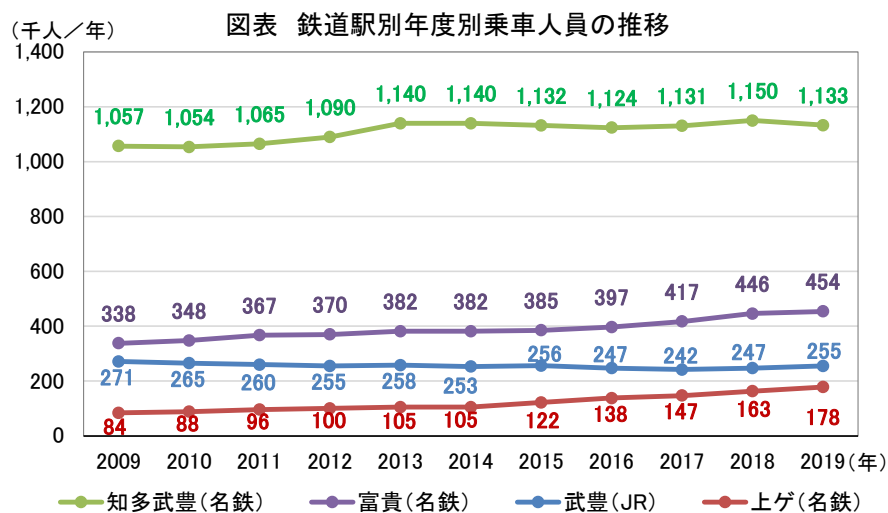
図表 土地区画整理事業等及び人口密度(2015年(平成27年))



(資料:国勢調査、愛知県都市計画基礎調査)

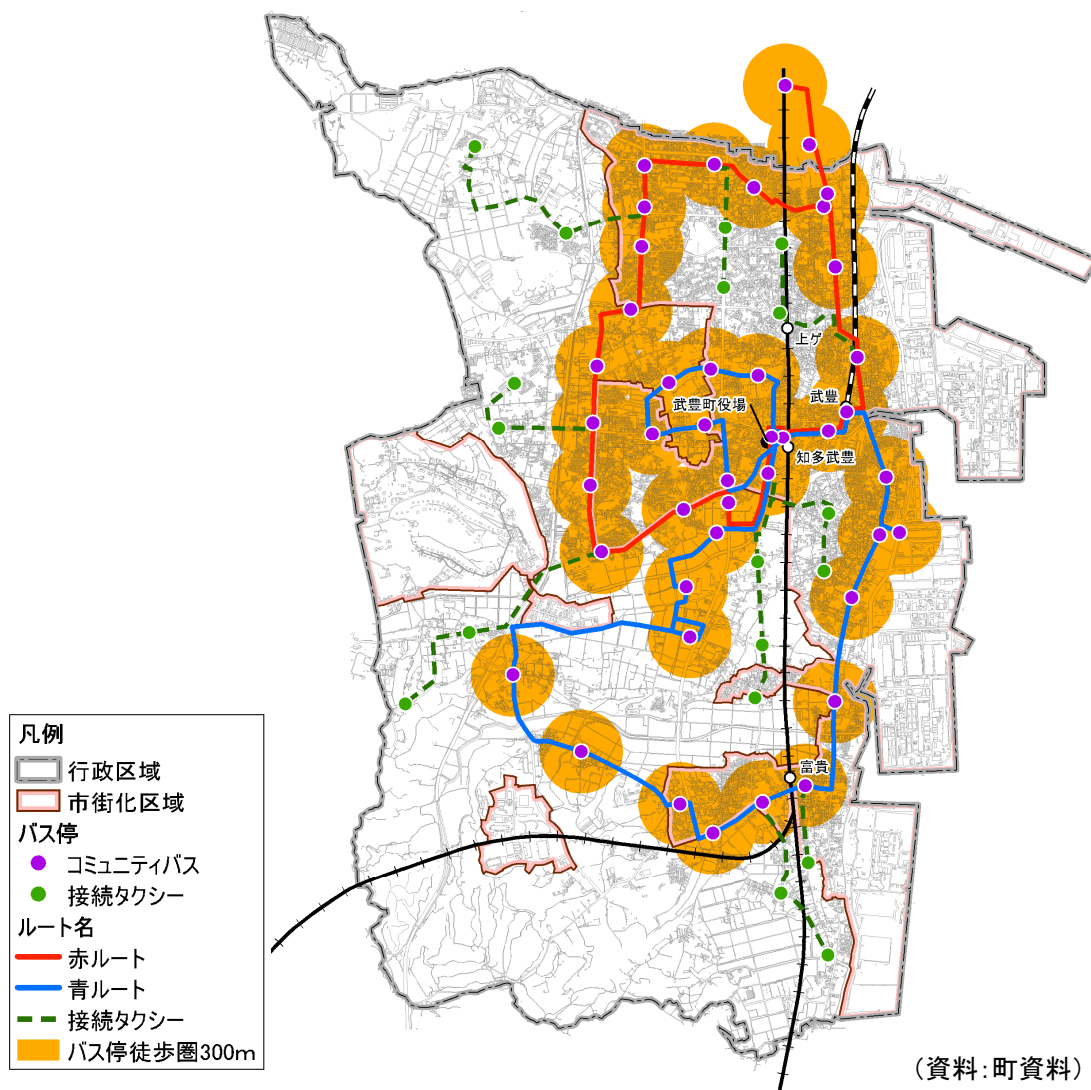
(6) 交通

- 鉄道は、3路線（JR武豊線、名鉄河和線、名鉄知多新線）が整備され、4駅が設置されています。
- コミュニティバスと接続タクシーが地域の公共交通を担っています。



(資料: 愛知統計年鑑、町政概要)

図表 コミュニティバス路線網及び接続タクシー停留所位置図(2020年(令和2年))



(資料: 町資料)

○武豊北インターチェンジ(仮称)が町北西部で整備中です。

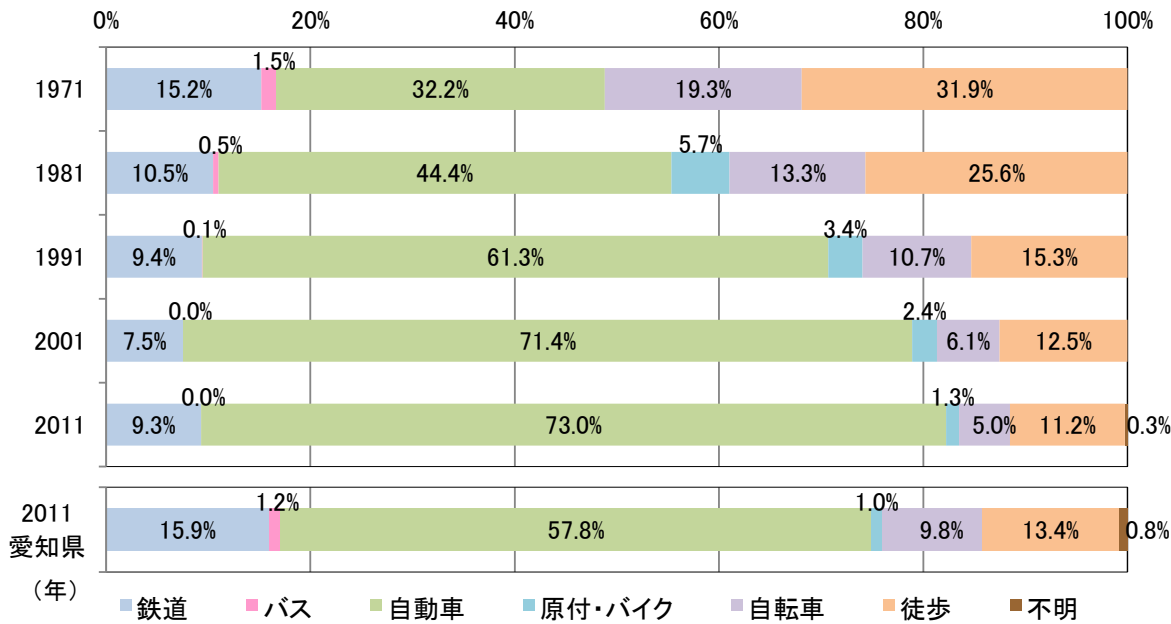
図表 武豊北 IC(仮称)完成予想図



(資料:町資料)

○代表交通手段としての鉄道の割合は、1971年（昭和46年）から2001年（平成13年）にかけて減少しましたが、2011年（平成23年）にはやや増加しています。

図表 手段別移動の内訳



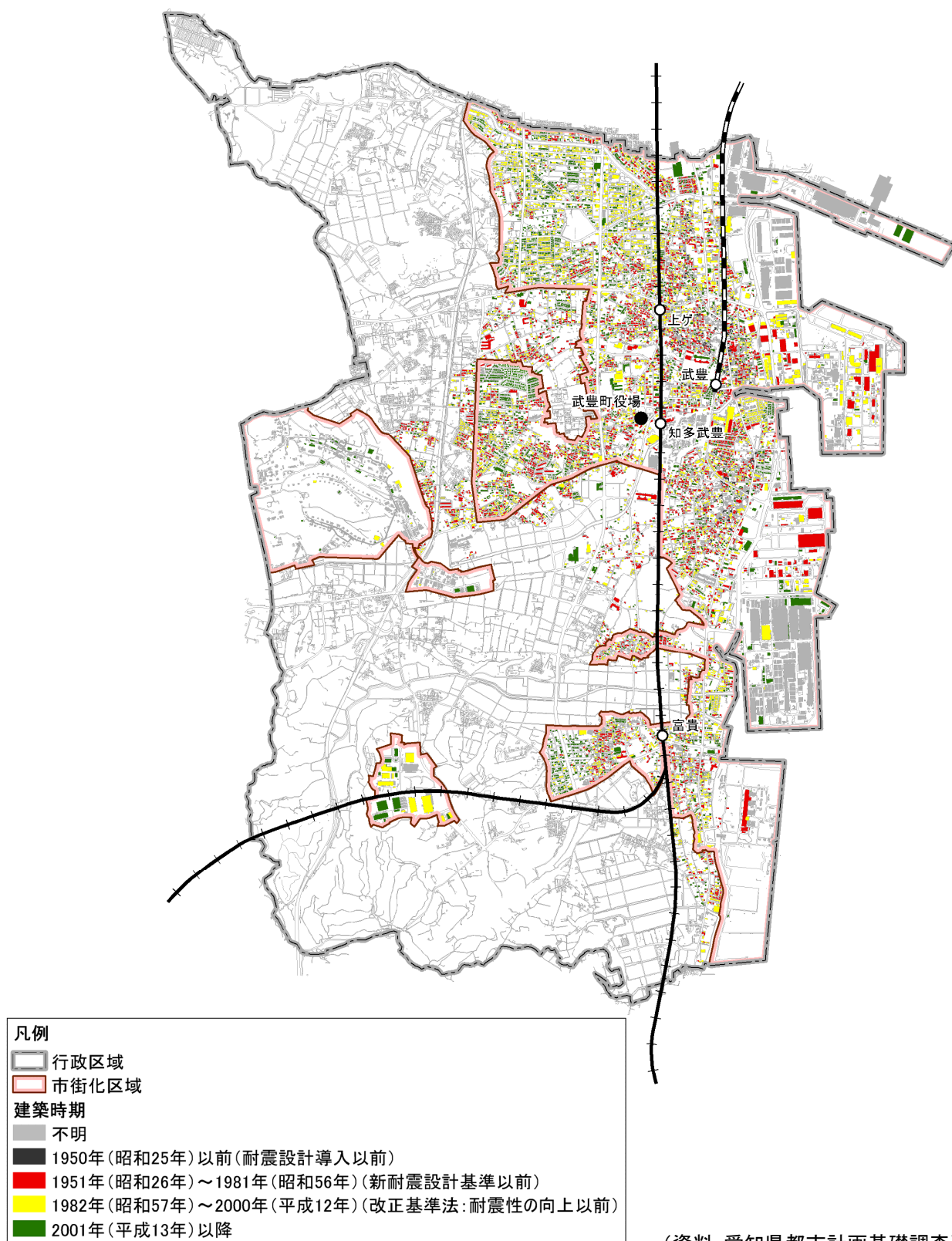
※1971 年（昭和 46 年）は「原付・バイク」と「自転車」の区分ができないため、「二輪車」の数値を「自転車」に含む

(資料:中京都市圏パーソントリップ調査)

(7) 防災

○JR武豊駅周辺、名鉄上ヶ駅周辺等の既成市街地では新耐震基準以前に建築された家屋が多く残っています。

図表 建築年代別の建築物分布状況(2017年(平成29年))



(資料:愛知県都市計画基礎調査)

第1章

計画の位置づけ

第2章

現況特性

第3章

住民意向の把握

第4章

課題の整理

第5章

全体構想

第6章

地域別構想

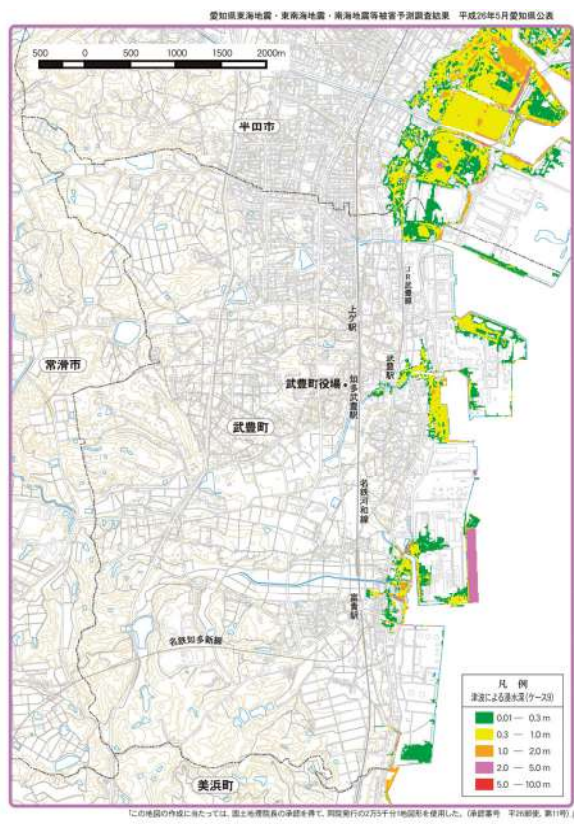
第7章

実現化方策

参考資料

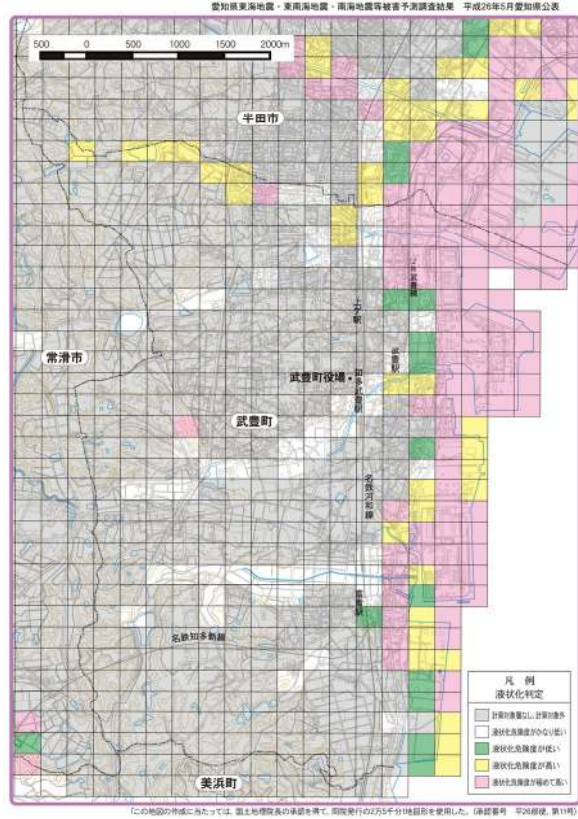
○衣浦港沿岸部は、大規模な台風接近時における高潮被害や、南海トラフといった大地震時では津波被害や液状化被害を受ける可能性が高いと想定されています。

図表 津波浸水想定区域



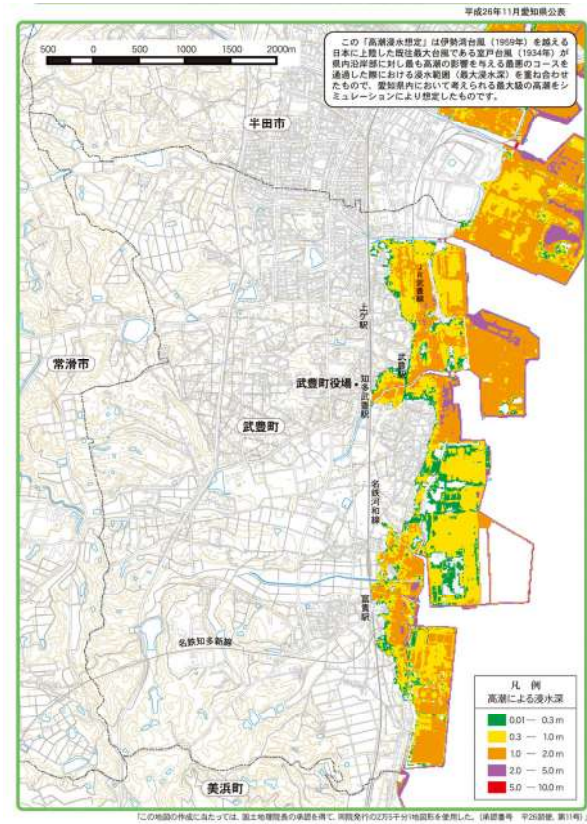
(資料:「武豊町防災マップ」2014 年度(H26 年度))

図表 液状化危険度



(資料:「武豊町防災マップ」2014 年度(H26 年度))

図表 高潮浸水想定図



(資料:「武豊町防災マップ」2014 年度(H26 年度))

○町内には狭あい道路が多く存在しています。

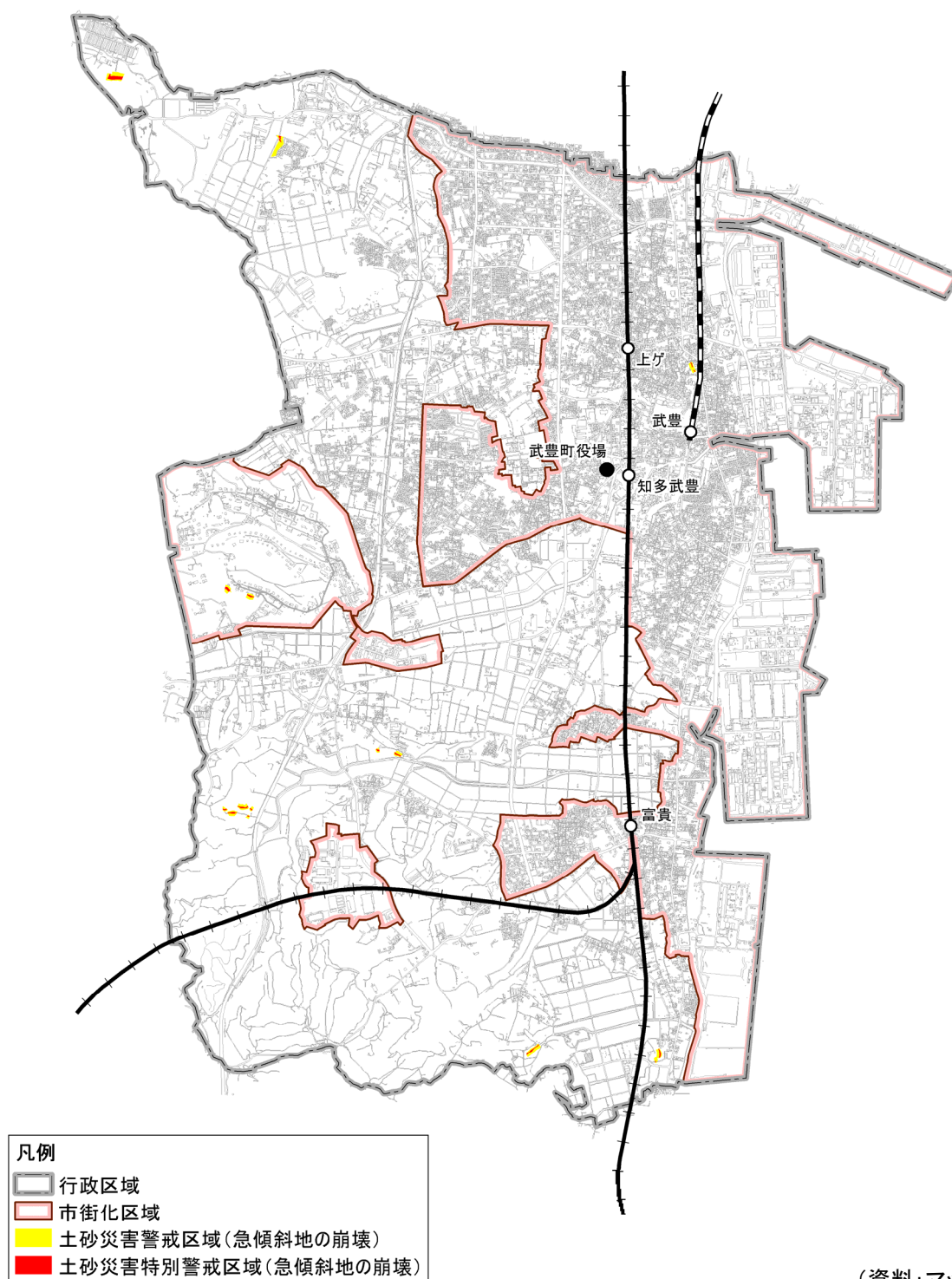
図表 幅員別道路の実延長(2019 年(令和元年))

(単位:m)	
区 分	町道
路 線 数	1,719
実 延 長	333,722
規 格 改 良 済	211,010
19.5m以上	30
13.0m以上	723
5.5m以上	55,083
5.5m未満	155,175
未 改 良	122,712
5.5m以上	242
3.5m以上	1,526
3.5m未満	120,944
うち自動車交通不能	21,070

(資料:知多半島の統計)

○西部の市街化調整区域の丘陵地の一部では、県指定の急傾斜地の崩壊のおそれがある土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域がみられます。

図表 土砂災害防止法に基づく指定区域(2020 年(令和2年))



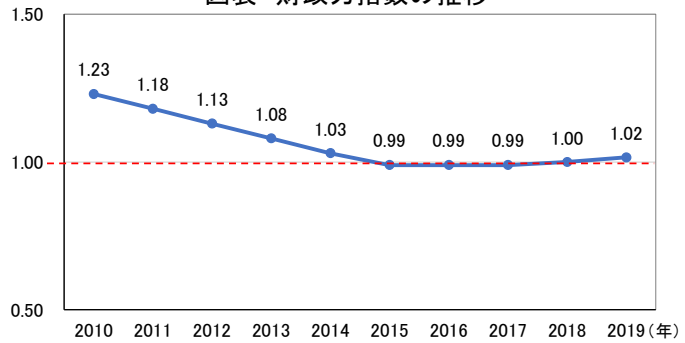
(資料:マップあいち)

第1章	計画の位置づけ
第2章	現況特性
第3章	住民意向の把握
第4章	課題の整理
第5章	全体構想
第6章	地域別構想
第7章	実現化方策
参考資料	

(8) 財政

○財政力指数は過去には1.00を大きく上回っていたものの、近年では概ね1.00を維持しています。

図表 財政力指数の推移

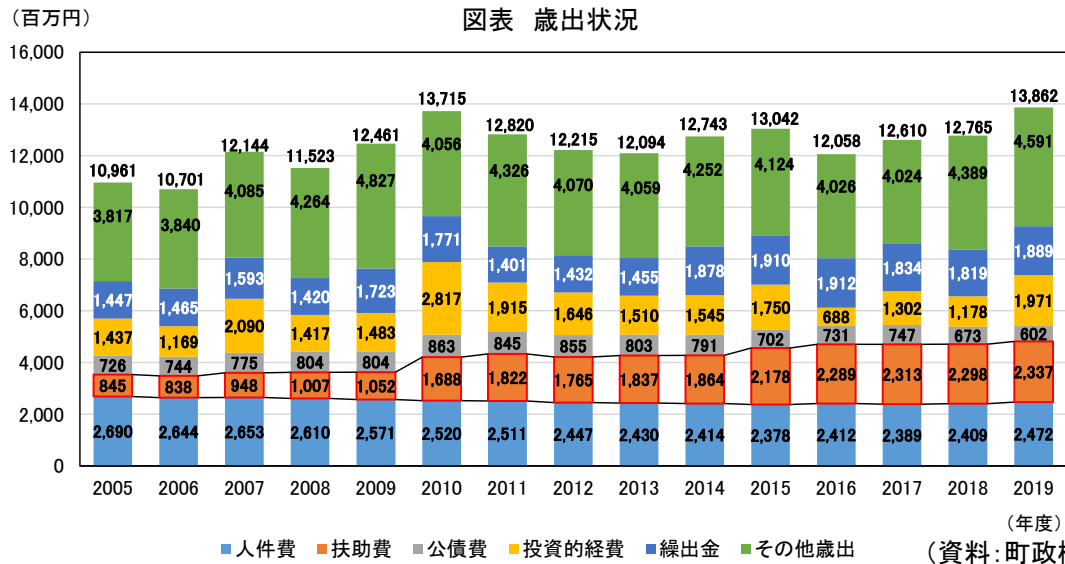


※各年の財政力指数は直近3ヵ年の平均

(資料:総務省 地方公共団体の主要財政力指標一覧)

○歳出の内訳は扶助費が増加しており、今後高齢者の増加に伴ってさらに増加することが見込まれます。

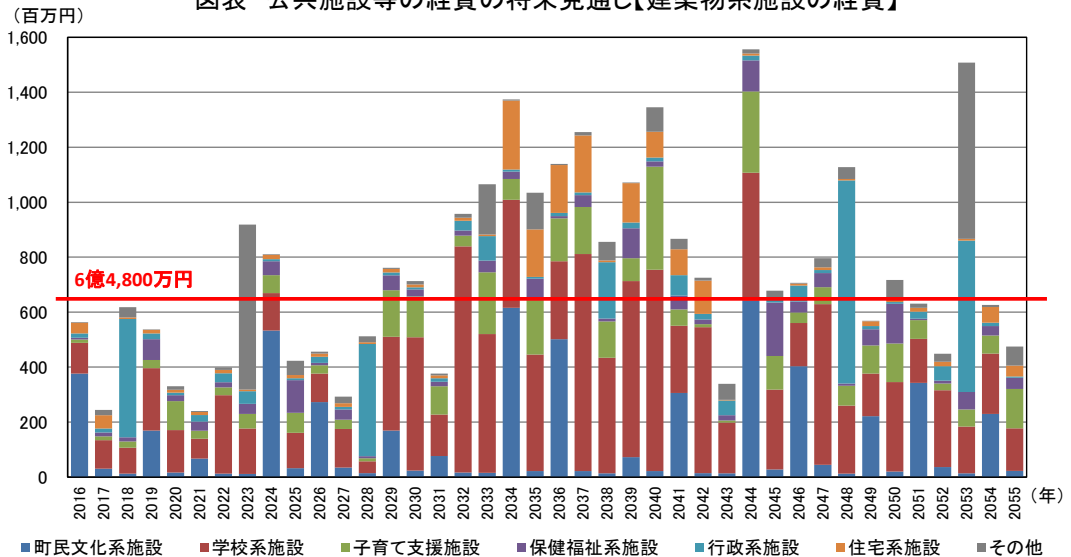
図表 歳出状況



(資料:町政概要)

○2028年(令和10年)以降に公共施設の改修、更新のために多額の費用が必要となることが見込まれます。

図表 公共施設等の経費の将来見通し【建築物系施設の経費】



(資料:「武豊町公共施設等総合管理計画」(2017年(平成29年)3月))